

新規就農者が集落の話し合いに積極的に参加して作成したプラン

もがみまちたちこうじ

(山形県最上町立小路地域(H24.12作成、H26.2見直し、H27.3見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	山形県東北に位置し、秋田、宮城の両県に隣接する山間地。基盤整備された地域で、水稻を中心に園芸作物等にも取り組んでいる。地域内農家数36戸、地域内農地面積105ha。
中心経営体	個別経営14名（うち認定農業者3名）
出し手となる農業者	1名《提供予定農地面積0.5ha》
農地集積	現状(H27) 49.1ha(集積率46.7%)→目標(H31) 69.3ha(集積率66%)

《特徴的な取組》

- 当該地域は他地域と比べて基盤整備が進んでいることから、新規就農者や若手農業後継者も積極的に地域内での話し合いに参加しており、地域農業について、多種多様な意見が交わされている地域である。
- そのため、プラン作成の取組みについても、地域農業の今後について話し合うきっかけと考え、将来の担い手となる新規就農者等も積極的に話し合いに参加し、プランを作成している。
- 若手農業者を中心に6次産業化の取組に興味を持っており、山菜の加工製造や施設野菜(トマト)の加工製造販売等を行っている農業者もいる。

《プラン作成・見直しの経緯》

- 平成24年8月 地域内農業者に対する説明会を開催。
- 平成24年10月 プラン原案について関係者による内容確認及び地域説明会を開催。
- 平成24年12月 プラン作成。
- 平成25年3月 第1回見直し。
- 平成26年2月 第2回見直し。
- 平成27年3月 第3回見直し。



〔基盤整備がされた水田と集落の風景。〕

(最上町位置図)

